

令和6年度

まちづくり推進部 平鹿地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿地域局
所属長名	佐藤 謙功

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域に寄り添った行政サービスを提供し、地域住民が生き活きと暮らせるまちづくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 地域住民の身近な行政機関として、住民の声や要望をしっかりと受け止め行動に移す必要があります。
- (2) 少子高齢化による地域力の低下を改善するとともに、住民の心身の健康維持に努める必要があります。
- (3) 人口減少や担い手の高齢化により、地域産業の継続、伝統文化や観光行事の存続が危ぶまれています。

3. 今年度の『スローガン』

行政サービスに遠慮はしません！

4. 今年度の方針

- (1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局を目指します。
- (2) 安全で安心な地域振興施策により、住民が生き活きと暮らせるように支援します。
- (3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興とともに、観光や伝統行事の活性化に努めます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築
	取組内容	① 明るいあいさつと来庁者への積極的な声掛けで、親しみやすい窓口対応を推進します。 ② 丁寧で分かりやすい説明により、市民に寄り添ったきめ細やかな対応を推進します。 ③ 情報共有を密にし、重要課題には全庁で取り組みます。 ④ 自治組織や地域コミュニティの取り組みを支援し、市民の交流機会の増加を図ります。 ⑤ 学童保育施設整備計画に基づき、利用者ニーズに対応した施設整備に努めます。
(2)	実現したい成果	安全・安心で、住民が生き活きと暮らせる地域支援
	取組内容	① 公共施設の適切な維持管理に努め、利用者へのサービス向上を目指します。また、FM計画の推進にあたっては、関係する地域住民との合意形成を基本に進めます。 ② 地区交流センター事業の推進を図るとともに、浅舞地区交流センターへの運営協議会設立に向けた取り組みを進めます。 ③ 地域住民の健康維持・増進に向けた取り組みを推進します。
(3)	実現したい成果	地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化
	取組内容	① 次世代への地域の伝統・文化の継承に努め、地域の活性化を推進します。 ② 地域特有のイベントや地域行事の着実な実施により、地域の賑わい創出に取り組みます。 ③ 地域の産業や観光の課題を共有し、地域資源を活用した取り組みを検討します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・来庁者に対し率先して明るい雰囲気ですぐ声掛けをしており、丁寧な対応をしている。
- ・浅舞朝市を会場に、誰でも気軽に立ち寄り、お茶を飲みながら楽しい時間を過ごしてもらおうと開催している、「浅舞朝市カフェ」の活動を支援した。6月から11月までの期間に昨年度より回数を増やしての開催を予定しており、引き続き支援していく。

(2) 安全・安心で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・地域からの要望などについては、関係者立会いのもと現地確認、改善策の提案などを行っている。また、解決に至らない場合でも納得していただけるよう丁寧な説明を行った。
- ・FM計画の推進にあたり、令和7年度譲渡施設となっている下鍋倉多目的利用施設については、地元住民や利用者との話し合いを4回実施したが、最終的な方向性は定まっていない。また、同じく農家高齢者創作館については関係集落から譲渡を受けないとの意向が示された。レストハウスについては関係者の要望で継続して利用できるよう関係課と協議が整った。
- ・浅舞地区への運営協議会設立に向けた取り組みとして、地区住民同士のワークショップ「浅舞を語る意見交換会」を今年度1回開催したほか、8月には地区住民を対象としたアンケート調査を行った。
【アンケート対象：地区内全1,616世帯、回答者数：453人(紙回答422人、web回答31人)】
- ・各種健診受診率向上のため、未受診者への受診勧奨を行ったことにより、昨年度並みの受診率となった。

(3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化

- ・あやめまつり及び平鹿音楽祭を通常通り開催し、多くの来場者に楽しんでいただいた。
- ・浅舞八幡神社祭典については、浅舞11町内のうち7町内が山車を製作し巡行した。浅舞町内の目抜き通りを会場に行われた宵祭りでは、各町内による山車とお囃子の披露、打ち上げ花火などが行われ多くの来場者に楽しんでいただいた。また、次世代への伝統文化継承の観点から、曳山行事に参加を希望する浅舞町内以外の児童と、各7町内が連絡調整できるよう浅舞小学校に依頼した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・引き続き来庁者へ寄り添った対応を行う。また、窓口アンケートでの意見も参考にしながら市民サービス向上に取り組む。
- ・来年度から浅舞地区において、ゆとり館での学童保育を計画しており、委託を予定している法人との協議を綿密に進める必要がある。また、委託先法人が抱える課題の解決に積極的に関わるなど開設に向けた支援を継続する。

(2) 安全・安心で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・降雪期においては、計画的な道路等除排雪を行いながら、突発的な要望については作業員の状況を見極め柔軟に対応する。
- ・令和7年度譲渡施設となっている下鍋倉多目的利用施設については、地域コミュニティ維持の観点からも地域住民等の要望を最大限汲み取り、関係課との調整を進める。
- ・浅舞地区交流センター運営協議会設立に向けた取り組みとしては、11月に運営協議会設立準備委員会を立上げ、住民アンケート調査を基にした事業案の作成や運営体制など詳細な事項を決定する。
- ・地区交流センター事業を早くから実施している、吉田及び醍醐地区については、住民主体の自主的な地域づくり活動の充実が課題となっている。このため、事業内容や組織体制の見直しを目的とした、各地区運営協議会との協議が必要である。
- ・未受診者への更なる勧奨を行うとともに、きめ細かな健康相談を行う。また、高齢者世帯の見守り体制を強化し、関係機関と連携しながら必要なサービスが適切に受けられるよう取り組む。

(3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化

- ・平鹿地域の冬の風物詩となっている、槻の木光のファンタジーの着実な実施に努める。
- ・平鹿りんご味覚まつりを開催し、地域住民とともに平鹿りんごや地場産農産物の魅力発信に努める。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1) 市民に寄り添い、地域から親しまれ信頼される地域局の構築

- ・窓口アンケートでは、93.5%の来庁者から「満足」「概ね満足」との回答をいただいた。次年度も地域局全職員による来庁者への積極的な声掛け、わかりやすい説明などにより、市民サービスの向上に取り組む。
- ・ゆとり館を会場に来年度開設を予定している学童保育については、委託先法人との協議を重ね、開設に向けた支援ができた。次年度は開設後の支援についても継続していく。

(2) 安全・安心で、住民が活き活きと暮らせる地域支援

- ・地域住民等からの要望については、丁寧な説明により実施の可否を含め概ね理解をいただくことができた。また、冬期の除排雪も大きなトラブルなく実施することができた。今後も市民の声に寄り添い、公共施設の適切な維持管理に努める。
- ・FM計画の推進にあたり、令和7年度譲渡施設となっている下鍋倉多目的利用施設については、令和12年廃止の方向で地域住民や関係者と協議が整った。その間、地域コミュニティ維持の観点からも地域住民等の要望を反映し、施設の利用を図っていく。また、複合減となっている吉田地区交流センター分館と統合減となっている浅舞スポーツセンターについては、令和7年度において利用団体などに対する説明会を開催し周知していく。
- ・浅舞地区交流センター運営協議会設立総会並びに通常総会を令和7年3月に開催し、次年度からの本格稼働することとなった。次年度の事業実施を支援していく。
- ・今年度の受診率は特定健診85.5%、大腸がん検診84.6%、胃がん検診70.0%となり、いずれも前年度を下回る結果となった。次年度は積極的な受診勧奨に取り組み、受診率の向上に努める。

(3) 地域資源を活かした魅力ある産業の振興と、観光や伝統行事の活性化

- ・地域特有のイベントについては、計画どおりに実施することができ、多くの来場者に楽しんでいただいた。
- ・浅舞中心部の空洞化の進行が危惧されている。次年度からスタートする浅舞地区交流センター事業の展開も念頭に入れながら、浅舞朝市会場となっている平鹿ショッピングエリアの利活用も含め、活性化対策を進める必要がある。